

第3学年D組 英語科学習指導案

授業者 森 菜 摘

1 単元 PROGRAM 2 *Good Night. Sleep Tight.*

(Sunshine English Course 3)

2 単元について

(1) 題材について

本課では、健とミラー先生との対話から睡眠について考えていく流れになっている。場面1では睡眠時間、場面2では睡眠の質、場面3では睡眠とスマートフォンとの関わりや昼寝の効用に着目して多面的に睡眠を捉えることができる。

睡眠は、時間だけでなく質も重要となる。毎日の生活を支える基盤となる睡眠について、自分自身を振り返りながら考えさせられる構成である。現代の中学生は、スマートフォンやタブレットパソコンをほとんど毎日使用している。しかしその関わり方を間違えると、寝つきにくくなる・睡眠が浅くなるなどして翌日のパフォーマンスに影響してしまう。本課を通して自分の現状の睡眠のあり方を見直し、さらに自分に合った睡眠のあり方まで考えさせたい。

(2) 言語材料について

本課では、「主語＋動詞＋疑問詞節」および「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」について学習する。「主語＋動詞＋疑問詞節」では、疑問詞で始まる疑問文を名詞節に変えるため、①語順が〈主語＋動詞〉と変化すること、②主節の時制に合わせて文中の動詞の形も変化することに留意させる。

「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」では、「tell (show, teach) ＋目的語 (主に人) ＋that 節」の形を扱う。話し手の立場から①適切な代名詞を目的語に置くこと、②主節の時制に合わせて文中の動詞の形も変化することに留意させたい。

いずれも、直接話法の形だけでは表現できなかった他者の状況や行動について、より具体的に相手に伝えることができるようになるため、表現の幅が広がる。これらを適切な場面において使用させることで定着を図り、活用させられるようにしたい。

(3) 学校研究とのかかわりについて

英語科では、「主体的・対話的で深い学び」を進める中で、生徒一人一人の挑戦心を育むことで資質・能力の育成を図ることができるよう、以下の二つの手立てによって授業実践を進めている。

【手立て1】について、自分の考えや気づいたことを英語で相手に伝える機会を積極的に設けている。自分が自信をもって使用できる英語を超えて、さらに表現の幅を広げることができるよう、自分しか知り得ない情報を他者に伝達したり、日本語や図の資料から自分の言葉で他者にその内容について伝達したりと活動を工夫している。これらの経験をもとに、生徒は相手を意識してコミュニケーションを図ることの大切さに気付いている様子が見られる。

【手立て2】について、生徒が自らの課題を認識し、どうしたらその課題を解決できるのか、段階的に支援を行っている。例えば、活動の中に難易度別に課題を選択できる場を設けている。自分で選んだものに取り組み、クリアできた際には次は一つ上のものに挑戦しよう、と生徒が進んで学ぶ意欲を持ち取り組む姿も見られている。また、文字だけでなく絵や身振り手振りを使って情報伝達の補助とできる場面を設定するなど、工夫して表現ができるような支援も行っている。

3 生徒の実態

男子18名、女子18名の学級で、初めてのものに対して好奇心をもって取り組んだり、見返りを求

めず誰かのために力を尽くしたりするような優しさがある学級である。ゆえに、課題を提示した際には概ね全員が積極的に対象に向かっていくことができる。また、問題を解く場面で周りの困っている人にアドバイスをし、正答を焦らないで発話を待つ、など仲間に配慮をする生徒も多い。一方、英語を用いて自分の考えや意見を発表する活動に自信がもてず、積極的に取り組むことのできない生徒も少なからずいる現状がある。生徒同士で学び、支援できる環境を整えたい。

4 単元の目標

健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句や文を用いてまとまりのある内容を英語で表すことができる。

- ・「主語＋動詞＋疑問詞節」や「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の特徴やきまりに関する事項を理解し、使用する技能を身に付けている。〈知識及び技能〉
- ・適切な表現を選択し、論理性を意識して情報を有効に伝えることができるよう、健康の維持増進やよりよい社会生活を送るために必要なことについて、自分の考えを整理し、適切な語句や英文を用いてまとまりのある内容を話している。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

(本単元における「話すこと [発表]」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと (聞)	<知識> ①「主語＋動詞＋疑問詞節」や「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の特徴やきまりを理解している。 <技能> ②「主語＋動詞＋疑問詞節」や「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の理解をもとに健康の維持増進やよりよい社会を送るために必要なことについて聞きとる技能を身に付けている。		
読むこと (読)	<知識> ①「主語＋動詞＋疑問詞節」や「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の意味や働きを理解している。 <技能> ②「主語＋動詞＋疑問詞節」や「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の理解をもとに睡眠の大切さについて書かれた英文の内容を読み取る技能を身に付けている。		
話すこと [やり取り] (や)		健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句や英文を用いてまとまりのある内容を ALT に話している。	健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句や英文を用いてまとまりのある内容を ALT に話そうとしている。
書くこと (書)		健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句を用いてまとまりのある英文で書いている。	健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句を用いてまとまりのある英文を書こうとしている。

6 単元の指導と評価の計画（8時間扱い）

時	◆ねらい ○活動	評 価		
		知・技	思・判・表	態
	<p>◆本単元で理解する内容や身に付ける技能を知る。</p> <p>◆「主語＋動詞＋疑問詞節」の用法を理解し、相手に必要な情報を尋ねたり伝えたりする活動を通して英語で話をする。</p>			◎評価規準<評価方法>
1	<p>○「主語＋動詞＋疑問詞節」の用法の特徴やきまりについて、直接疑問との比較やディクテーションを通して理解する。</p> <p>○日常起こりそうな場面を設定し、疑問詞節を用いて必要な情報を英語でやりとりする。</p>			
2 本時	<p>◆教科書本文（Think 1）と関連する資料を通して睡眠時間について知識を深め、学んだことを表現する。</p> <p>○「主語＋動詞＋疑問詞節」の用法が用いられた教科書本文の内容を理解する。</p> <p>○教科書本文や睡眠時間に関する資料について、その内容を他者に伝達する活動を通し、自分の考えを深めながら英文でまとめる。</p>			
3	<p>◆「主語＋動詞＋目的語＋疑問詞節」の用法を理解し、ペアでロールプレイ活動を通して英語で発表する。</p> <p>○「主語＋動詞＋目的語＋疑問詞節」の用法の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。</p> <p>○絵についてペアで会話を作る活動を通して、英語で発表する。</p>			
4	<p>◆教科書本文（Think 2）とそれに関連する資料を通して睡眠の質について知識を深め、表現する。</p> <p>○「主語＋動詞＋目的語＋疑問詞節」の用法が用いられた教科書本文の内容を理解する。</p> <p>○教科書本文や睡眠の質に関する資料について、自分の体験を交えながら、他者と意見交換する。</p>			
5	<p>◆「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」の用法を理解し、自分の体験談を英語で話すとともに、その内容を書いて表現する。</p> <p>○「主語＋動詞＋間接目的語＋that 節」を標識や場面絵についての文章や音声を通して理解する。</p> <p>○標識や場面絵について英語で話し、その内容を相手に伝えるとともにその概要を英文で表す。</p>			
6	<p>◆教科書本文（Think 3）とそれに関連する資料を通して睡眠のその他の要因について知識を深め、表現する。</p> <p>○「tell (show, teach) ＋目的語＋that 節」の用法が用いられた教科書本文の内容を理解する。</p> <p>○教科書本文や睡眠のその他の要因に関する資料について、自分の考えを深めながら他者と意見交換する。</p>			
7 ・ 8	<p>◆健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関して深めた自分の考えを、適切な語句や文を用いてまとまりのある英語で表現する。</p> <p>○ALTとのやり取りの中で、自分の睡眠に対するあり方について英語で話して表現する。</p> <p>○英字新聞を一枚作成し、自分の睡眠に対するあり方について15文程度の英文で表現する。</p>		<p>や</p> <p>書</p>	<p>◎健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句や英文を用いてまとまりのある内容をALTに話している。<活動観察></p> <p>◎健康の維持増進やよりよい日常生活を送るために必要なことについて、特に睡眠に関する自分の考えを深め、適切な語句を用いてまとまりのある英文で書いている。<ワークシート分析></p>
後日	<p>・ペーパーテスト</p>	○		

7 本時の学習

(1) 目標

- ・教科書本文 (Think 1) と関連する資料を通して睡眠時間について知識を深め、学んだことを表現する。

(2) 教具

- ・コンピュータ (教師用) ・プロジェクター ・ヘッドフォン (生徒用) ・ワークシート

(3) 展開 (2/8)

過程	学習活動・学習内容《形態》	・指導上の留意点 ○評価 ☆学校研究との関わり
復習 7分	1 ウォームアップ 《一斉》 (1) あいさつ (2) 歌 “Luka” (3) 前回の文法事項の復習	・歌詞の意味を味わいながら歌うよう声掛けする。 ・間接疑問を用いた文をテンポよく音読させる。
導入 2分	2 課題の確認と教科書本文の理解 (1) 本時の課題と目標を確認する 《一斉》 “How long do you need to sleep?”	・本時は睡眠の「時間」に注視することを伝える。 ・本時は、教科書の情報を得たうえで発展の内容を行うことを伝える。
展開 19分	(2) 教科書本文の内容を理解する ア 新出語句の確認 《一斉》 イ 本文内容の聞き取り 《一斉》 ウ 本文内容の読み取り 《一斉》 エ 教科書本文の音読 《一斉・ペア》 オ Retelling 《ペア》	・「何を聞き取るのか」明らかにしてから聞き取りをさせ、内容理解へ繋げる。 ・本文内容に関する Q&A を通して内容を確認する。記述するものは、回答を確認する前にペアで確認し合うよう促す。 ・英文一つ一つの意味を意識して音読させる。 ・音読の成果を発揮できるように、単語のみ提示をし、ペアに本文内容の要旨を英語で伝えさせる。
発展 15分	3 課題に関する情報の取得と共有 《ペア》 (1) 「睡眠時間」に関する情報のやり取り ①ア 「音声+画像」を選択した方 (以下 A とする) は、流れる音声とモニターの画像を視聴する。その間、「文章」を選んだ方 (以下 B とする) はモニターを見ない。 イ A が B に情報を伝える。 ウ B が A に聞き取った内容を Retelling する。 ②ア B がモニターに映った文章を読む。 イ B が A に情報を伝える。 ウ A が B に聞き取った内容を Retelling する。 (2) 情報の答え合わせをする 《一斉》	☆【手立て1】「挑戦心を引き出す学習指導の工夫」 ・相手に自分しかもっていない情報を自分の言葉で伝えさせることで、相手を意識した英語のやり取りに挑戦させる。 ☆【手立て2】「個別最適な学びの工夫」 ・言語化することに苦手意識のある生徒へ、ワークシートに文字や絵など自由にメモをとるよう声掛けをし、生徒が自分なりに振り返りができるようにする。 ・情報源が「音声+画像」なのか「文章」なのかを、自分で選択させる。 ・生徒が日本語でメモをした場合、メモをそのまま相手に見せないよう促す。 ・生徒の活動を観察しながら適宜個別にフィードバックを行う。 ・情報の伝達度および理解度について、伝える側と聞き取る側で自己評価させる。 ・全体にフィードバックを行う。
整理 7分	4 まとめ 《一斉・個人》 (1) 本時の活動の中で得た情報を英文でまとめる (2) あいさつ	○教科書本文と関連する資料を通して睡眠時間について知識を深め、学んだことを英文で書いている。<活動観察及びワークシート分析>